

ぼうさいくんれんにさんかしよう

いざというときにおちついて行動こうどうするためには、ひなんくんれんにしんけんたいせつにさんかすることが大切です。
学校がっこうのひなんくんれんだけではなく、地ちいきのぼうさいくんれんにも、すすんでさんかしましょう。

1 いざというときのために

同じことでも、くりかえしくんれんして、正ただしいひなんの方ほうほうをおぼえるひつようがあります。



けむりなかの中あるでの歩かたき方のくんれん



しょう火かきでしょう火かた体けん



けがの手て当てをおし教えてもらう



友ともだちと手て当てのれんしゅう



ひなんくんれんやぼうさいくんれんで、まもらなければならぬ大切なたいせつことは何なんでしょう。

2 ちいさなひと 地いきの人といっしょに

さいがいがおきたときに力ちからをあわせて生活せいするためには、日ひごろから地ちいきの人ひとびととかかわることが大切です。地ちいきのぼうさいくんれんにも参さん加かしてみましょう。

そして、すむ地ちいきでさいがいがおきたときにどのようかんがにひなんしたらよいか考かんがえましょう。



ひなんじよつくを作るくんれん



夜よるのくんれん



小ちいさい子こどもの世せ話をわする



みんなの地ちいきでは、どどんなくんれんがあるかしらべてみよう。

くんれんにさんかしたかんそうを、はな話あし合あってみましよう。

